平成26年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	砂田　尚子、細川　昭広、柏木　隆寿
調査実施年月日	平成26年7月1日（火）
調査先　自治体名等	福岡県北九州市
調査項目	「北九州市・環境ミュージアム」見学
調査目的	本市は従来の青少年科学館を新たに環境科学舘としてリニューアルする構想を発表した。従前からの展示に加え、新たな環境教育に資する展示も含めを加えた最新の科学舘にすべきと考え本市と同じ様なものづくりの街・北九州市環境ミュージアムを参考とすべく見学をおこなった。
報告内容 実施したこと	1　視察先（市町村）の概要 人口：983，236人　（H25．10．1現在）　行政面積：489.60㎢ 2　視察内容 環境ミュージアムは5つのゾーンからなり、第1ゾーンは北九州市の変遷の紹介、第2ゾーンは公害克服の歴史、第3ゾーンは地球環境問題を身近な暮らしの中やグローバルな経済活動などの視点から伝えるゾーン。第4ゾーンは環境技術とエコライフと題し「リサイクル」を通じて、身近なエコ商品やエコ素材を紹介するゾーン。資源・エネルギー・廃棄物・環境新技術など、物を捨てない「循環型都市」へ向けてのヒントを知るゾーン、第5ゾーンは「北九州市 環境未来都市」「アジアに広がるネットワーク」「市民・団体・企業・学校の取り組み」などを紹介したゾーンとなっており環境未来都市として、魅力ある街づくりを目指す北九州市の豊かな自然と、これまで北九州市がたどってきた歴史が紹介されています。
感想（まとめ） 本市へ活かせること等	北九州市の成り立ち、ものづくり産業の発展、公害防止の取り組み、環境産業都市への変貌と本市が辿って来たと同じ道を歩んできたことに共感を覚えるとともに全て同じような施設ではダメだと見学して改めて感じた。九州はアジアとの交流が多いせいか、見学当日も中国の視察団が訪問していた。また、運営も市民ボランティアの方々が行っており、環境ミュージアムを拠点として、市内全域で、市民の皆さんへ環境教育・環境学習を行う環境学習サポーター制度を実施している。 環境学習サポーターは、環境ミュージアムを訪れる見学者のみならず、地域や学校へ出かけて行き、ニーズに応じた体験型の環境学習プログラムを実施しているとのことで北九州市では環境学習サポーターの育成や活動支援を行っている。本市も青少年科学館の運営は「こもけん」さんが指定管理者として行っているが、環境科学舘となった時点でどのような運営体制及び活動内容とするか再考すべきと感じた。